



合といふ申しますと、これまでの協同組合といふものでは、協同組合本來の使命よりも、何らか一種の統制機関といふやうなものでございまして、而もその範囲は全國土に跨がり、又組合員の資格といふものも、協同組合として加入していいのかどうかといふような點もありましたのですが、大體我々の狙つておりますところは、地域的には、でありますから、産業地域を中心にして、またかく大きくても府縣単位といふようないところでありまして、更に構成メンバーは、これは中小企業なんかは、法人と個人との區別がなく、むずかしいので、我々の考え方をいたしましては、小さいところの法人といふようなものは、その構成メンバーにして、いわゆるじやないかという考え方を持つておられます。ですが、その點はまだ未解決といふやうな状態になつております。大體一口に申しますならば、本當の協同組合は、個人と個人の区別がない、個人の性格を持つたものであり、地域的に産業地域を中心としたものであります。そうして大體その構成メンバーは、人が中心と、いわゆる工合になるのではないか、このように考えております。これは恐らく今度の議論にも提出できるのじやないかと思つております。そこでそういう中小企業の協同組合を組織いたしまして、できるだけ資金、資材の面をば解決して行きたい、このように考えておりますので、これ以上のいろいろ具體的な點は、今、ここではつきりと私がいう所まで至つておりますが、大陸の構想は、そういうような構成を持つておるという工合に御了解願いたいと思います。

大臣は二時まではおられますけれども、それ以上は公務のためにここを去らなければならぬということになりますので、大臣にお伺いする點につきまして、皆さんから御質問を願いたいと思います。

○油井賢太郎君 只今大臣から、貿易公園法ができたからもう貿易組合法は廢止しても宜しいといふような御趣旨に承りましたが、その貿易公園法ができております今日、貿易業者關係に對しまして、日本の再建を圖るために資金、資材の面の運営といふものはどうなつておるかということを現實に見ますと、むしろできる前よりも非常に窮屈になつております。貿易に對する生産意慾といふものも殆ど行われてないといふような状況にまで陥つておるのであります。こういう際におきまして、大臣といたしまして、貿易公園法によつて本當に我が國の貿易再開のためにあらゆる面において打開することができるかどうか。盤路を克服することができるかどうかなどいろいろな現実的にお話を願いたいと思うのであります。

○國務大臣(水谷謙三郎君) 只今貿易公園に對して御指摘の點は主として資金の面だと思つております。これが我が考えでおるよに十分の資金が今までよく行かないで、それが元となり解決できるといふ目處を持つておりますので、その點が解決いたしますならば、これまでのいろいろのものが解消されるのではないかと思つておりますが、この問題は極めて短い期間において解決できるといふ目處を持つておりますので、一日も早くその點をば解決するよ

○油井賢太郎君 具體的に何日、或は何ヶ月くらいのうちに解決できるかお聽かせ願いたいと思います。

○國務大臣 水谷長三郎君 具體的に何月何日とということは申し難ますが、大雑把に申しまして、この議會中には何とか日程をつける見透しがあるといふ工合につて御了承を願いたいのであります。

○委員長(一松政二君) 尚私は水谷商工大臣にちよつと伺いたいと思うのですが、今後の我が國の經濟再建は主として貿易が込んですべての基本になるとのことであります。殊に今後の輸出はいわゆる輸入が、先であつて、今の資材、資金、或いは工場の能力、或いは從業者の氣分その他からいきまして、如何に十五日以後各國からバイヤーが参りましても、殆んどめぼしい筋の通つたもの輸出は見込のないというのがみんなの意見であると思うのであります。今後我が國の經濟を再建する上において、貿易の確たる見透しであります。この見透しとその數量を把握せざして、如何に安定本部において、いろ／＼資材の調査その他を計算しても、この根本の貿易といふものがはつきり把握できなければ、殆ど砂上の櫻園に等しいことになるのじやないか、という感がいたしますのでありますが、その點につきまして、この間貿易廳から責任者に来て貰つて、この七月から来年の六月までの貿易計畫について説明を求めて、そして何ら責任のある返答ができない。而もそれも今年の一月かにそ

の筋に提出されたのであります。その中で、いろいろな、甚だ心細い夢のような話を承つたのであります。若しそういうものを基本にして今日の我が國の計画経済をおやりになるのであるとすれば、計画経済そのものの根本が甚だ疑問なものであります。「くらげ」のようないでなければならんと思うのであります。いつを承りたいと思うのであります。○國務大臣(水谷長三郎君)一松委員長の御質問に對しまする正確なる御答辯になりかねると思うのですが、大體我々の考えによりますると、日本の貿易方式は、言うまでもなく加工貿易方式を探らなくてはならないことは、御承知の通りでございまして、終戦以来一ヶ年の輸出入のバランスは、御承知の通りに一億八千萬ドルの入超でございますし、それが表れるどころかますますきつくなりまして、今年の十二月の末に行きますれば大體どのくらいになるという見透しは、一應は立つておりますのでございますが、相當数の輸入超過になるとと思ひます。それではいつ時分になれば大體その輸出入のバランスが取れるかということに關しましては、目下經濟安定本部が中心になつて、いろいろのバランスを立てておりますが、今後やはりそれには大體三ヶ月程度の月日を要さなくてはならぬのではないかというものが、現在の大體把込見透しになつております。例えば石炭を一つの例に取りますても、四五百萬トン程度出て来なければ、日本本の需要といたしまして、輸出入のバ

ラスが立たないのでないかと、いろいろの細かい数字を擧げましての各論に目次を持つております。その他のいろいろの御説明申し上げたいと思つております。

○委員長(「松政二君」) 只今商工大臣の御答辯で、商工大臣にこれ以上眞理的な説明を求めるることは、或いは無理かと存じますので、私も眞理的な問題につきましては、これを他日に留保いたじておきます。ただ私が建議に思うことは、貿易の再開という言葉を政府が頻りに使っております。而も貿易廳の長官もいらっしゃるはずだと思ふのであります。が、貿易はもう昨年から始まつておるのであります。單に民間のバイヤーが直接来てここで相談をなし得る。それが十五日から後になつたということを恰かも貿易の再開のことくに國民にこれを誤解せしむるということは、私は甚だ國民を誤るものであり、他日の失望を招く所以であると私は考えるのであります。況んや直ちに五億ドルのクレジットが早天に慈雲を圖んだがごとくに議會で總理大臣が説明されておるのであります。が、若し五億ドルのクレジットが確實に許され得るといふことがありますれば、その使途について或いはそれをいかに政府は處理するか、若しクレジットになつておるのでありますならば、それは政府がそれを自分でイニシヤチーブを取つて自分からその計算に當り得るはずであると思うのであります。單に連合國の司令部の中に、唯一億三千七百萬ドルの貿易基金を運合國の中に設定しました。加うるに綿布の輸出代金その他を合してこれで約二億ドルになる。それ

を基金にして、そして将来日本に必要なこれをリヴァオルディング・クレジットの形にして、そろして日本に原料を輸入する制度を取つたということである。私は思うのでありますけれども、それと恰かも直ちに借款ができるとそうして旱天に懸念を墜んだごとくであるならば、直ちに夕立が、雨が只今降つて来なければならぬ。國民はそれを懸念しておるのであります。又それを非常に心強く思ひ、觀つておるのでありますけれども、然ばば私は商工大臣にこの懸念を伺いたいのですあります。若し果して然らば今五億ドルをいかようにこれを使用になつて、いつからどういら品物をどういうふうに政府がみずから調整を立ててこれに當つておるのであるか、この點について私は商工大臣にはつきりした御答辭を頂きたいのであります。

資金をば使うということになつたのでございまして、主として安定期部がそれを幹事役を勤めてやつて行くと、さうして、更に具體的な詳細がなされまして、仰せの趣旨通りに、このいわゆる回轉資金といふものをは確めて有效に使用しまして、この回轉資金をいたしましてできるだけ最大限に日本經濟再建に役立たせるように努力するといふふうになりましたので、その點は悪しからず御了承願います。

握りまして、業者といたしましては恰  
も盲人が杖を取られたような思いをして  
て、價格の面につきましては何ら目標  
がないということ、従つて立派な製品を創  
作するとか、或いは新らしい製品を創  
案するというような意慾がなくなると  
いう缺點があると思います。この點に  
つきましてどう、いろいろな方法をお考  
りになりますか。以上三點、お答を願  
います。

うに、メード・イン・ジャパン、安  
かるも悪がろうと、どうなことで  
は、折角今後文化國家としたしまして  
立つて行く日本といったまでは、非  
常に致命的な點になりますので、この  
點に關しましては、今後文化國家とし  
て立つて行くその面における貿易の  
重要性といふようなことに考え方ま  
で、乏しき、限られた資材の中にお  
ても、できるだけ最大限に良心的な良  
物を造る。そのためには政府といたし  
ましては、検査制度その他の監督を  
おこなひ、嚴重なる検査を行ひます  
て、そういうような世界の鑑定を貢  
とうな組合品は一品といえども外國へ  
輸出されないと、工合に今準備をして  
おるような次第でござります。更に  
第三の、いわゆる貿易價格の問題で  
ございますが、これは目下物價騰貴を中  
心にいたしまして種々検討しております  
で、仰せのように④にプラスを、それ  
ぞれの状況を物品に對しまして適當の  
プラスを加えましたところの貿易價格  
が、輸出價格というものを我々は考  
えております。そういうことにすれば、或  
いは國內にインフレーションその他の  
問題とどうかといふいろいろと關連す  
た問題がございますが、それらは即ち  
に對策を立ててそういうような弊害の  
起らないよう一つ輸出價格を考究  
たいと、このように考えております。  
○深川榮左エ門君 今後の日本の貿易  
には中小工業が貢献することは非常に  
大きいと思いますが、この中小工業の  
をして貢獻せしめるためには、政府と  
しては思い切った施設を講ずるか、或  
いは強力なる政策でもつて中小工業の  
貿易に貢献するのを助長しなければな  
らないというように私は感する者で  
す。

ざいます。商工大臣これにつきまして具體的な御抱負がありましたならば、お聞かせをお願いしたいと思います。

○國務大臣(水谷義三郎君) 今後の我が國の經濟におきまして中小企業がその中心になるということは國際經濟の上におきましても、國內經濟の上におきまして、只今の御質問者と私は全く同意見でございます。従いまして今度の議會におきまして、これは七月の初めの一般施政方針の質問のときに申しましたように中小企業振興方策といふものをできるならば出したいというふことを言つておきましたが、只今のところまだ今度の議會に出せるかどうか、どうかといふところまで至つております。併しながら我々の考え方いたしましては、この中小企業の一一番大きな問題である資金の面に關しましては、これは中小企業専門のいわゆる金融機關が必要じやないかということを考えまして、いろいろ安本或いは大蔵省に折衝したのでございますが、最近の開議の決定ではそういう場合にはつきりと中小企業専門の金融機關といふものは形式の上においてはできないのでございまが、運用の面におきましては舊金を中心としたしまして市中銀行その他の協力によりまして、大體中小企業に對する金融機關としては、從来と格段違つた改善の途をば圖らうといふ工合になつたのでござります。併しながら、商工省といたしましては、これはかねがね主張しておりましたように、中小企業専門の金融機關が必要である。これは現在の大蔵大臣も商業銀行におけるときにはそういうような意見を持つておられたのであります。その點

参考のために申し上げておきますが、

で、一日も早くその點をば解決するよ

きない。而もそれも今年の一月から

本の薬業といだしまして、輸出入の

たが、本に載つてゐる金額の他を  
合してこれで約二億ドルになる。それ

小企業の培養の一一番大きな點であるところの金融面をば何とか解決したいと、このよう考えております。  
○中平常太郎君 大臣も時間がありますので長い御質問はできませんが、從来の弊に入つております貿易關係が申しますと、どうも資材面、つまり製造するものの側から申しますと、最も必要な資材が早く入らない、それで火がついたような注文があつたところでその品物を捨てる間がない、それは前から貰つておくわけにも行かずさればといつて俄かに造るとよいものができない。あと口が悪いことになって困る。ありますから、今後は聊かその點は貿易商においても又政府におきましても積極性を持たれることと存じますが、私はこれを十分考えておられると思ひます。が、資材面におきましては前述し、要するに注文を貰つてしない部分に對して十分に工場の基礎、信用等に對して、十分なる調査ができるてゐるものなればとし、資材を廻してやつておく必要があると思うのであります。が、先程金融面におきましては御説明がありました。が、資材面については御説明が、本當の純良なものはどんく始めなければならんという意味の下に特製でもさして、特別な方法を以て製作された資材をどの方面に向つても、ゴムであれ、鐵であれ、何であれ、か

に早く廻して、それが注文があるものとみなして本腰を入れて適當な数量を消化せざるよう、安心して工場が製作ができるようにしてやらなければならんといふことでないと、注文があつた場合に速やかに應することは絶対できないと思ひます。

○國務大臣(水谷長三郎君)　只今の御質問も御尤もござりますて、私は前に中小企業の問題としては資金と資材とにどうことを言いましたが、今の前の御質問者に對しまして一例として資金の面に關しましてはこういふことを考えておるといったのでありますて、その中小企業は資金と資材が同じ程度において必要であるということは否定したのではございません。大體この中小企業の資材の問題でございますが、我々は中小企業なるが故に資金、資材をば重點的に考えるということでなしに、中小企業の中におきまして、輸出業界に關聯のあるものを特別的に重點的に採り上げて資金資材というものを解決したいと思うのでございますが、大體資料の面にたいしましては、競争的申告制度と申しますが、自分らの工場にはこれ／＼の資料がある、しかしこれは足りない、だから僅かばかりの資料を持つてくればこれだけのものができるというようなことを、競争的申告制度を考えまして、乏しい資料のうちから迅速に、そして極めて有效にやつてゆきたい、こういふ考え方をもつております。だから理窟をいたしまして

は資材と資金にたいして一種の中小企業専門の公園といふようなものでも作りまして、それが中心になつて競争的申告制度と結び合ひして、勝つてゆけば、非常に迅速に且つ的確にゆくんじやないかと考えますが、これらの點に關して繰り返して申しますように、成敗がつき次第何とか一つ皆さんの御審議を仰きたい、このように考えておる次第でござります。

で御尤もございまして、今日の閣議で行政機構の窓口刷新の決定をいたしました。そして、いろいろの官廳事務に對する批判とか、その他の承り所を作りまして、而も窓口には極めて有能なる役人であつて、極めて地位の高い者を却つて窓口に据えて、事務の鍛活を期したいと考えております。いずれ明るい日の新聞には恐らく窓口改善の政府の考えておふ全貌が發表されると思ひますので、而も我々はそれを發表しならうと考へました。それで今仰しやつたよなことが、全部解決できるというより、甘い考えは持つておりません。それに基きまして、現て實行面に移して、いろいろ足りない點は適切なお叱りを願ひまして、タイマーに事務は運んで行きたいと思ひます。大臣みずからがそういうふなことをやれということございまますが、私も時間の許す限りやつて行きたく思います。どうかこの政府が靈壽をいたしました窓口改善の組織をば、おなたがたのお力によつて大體實を與うて頂きたいと考えております。

を、商業の有用性、これを官廳の公認とか或いは何々の役所ができるであつたらないのはそこにあるのであります。商賣人は夜の夜中でもどこまでも行つて親切に探してくれるのです。が、役所になりますと四時になれば退けるのであります。朝は九時か十時頃にならなければ出て来ない。それが今日にならうと明日にならうと明後日にならうと、なんら痛痒を感じない。商人になると相手方の苦しみがびんびん頭に響くのであります。そういう商賣人の宜いところを全然無視され、商賣人が手数料を取れば、これは中間の人間の手数料であります。そういう商賣人是非常に近頃特に多いように考えるのであります。苟くも商工行政に當られる商工大臣は、この商業といふものを、商業の産業に對する有用性といふものを十分認識されまして、そらして正當なる商業の一日も早く樹立されることに御盡力を願いたいと思うのであります。甚だお急ぎのところをお止めして相済みませんが、それだけのこととを時に御注意申し上げて置きたいと存ります。



のですが。どういう問題ですか、それを一つもう少し具体的にお教えを願いましたらいいかと思しますが。

らどうですか。諷事の進行上貿易組合法を廢止する法律案といふのが諷案になつておりますが、諷事の進行を詰らねたいと思います。

○委員長(一松政二君) これは戦時由にあつたので今は殆ど實質上役をしてないで、これを廢止す不というのでありまするがら、この點につきまして、これは廢止してはいけないとか、或いはなにかどういうふうに變えると

○油井賢太郎君　その意味において議論の進展を話題願いたい。

○委員長（一松政二君）　これは豫備審査でありますから、まだ法案になつてはいないのでありますから衆議院から審議を受けません。衆議院が昨日始めてやつたのです。

○中平常太郎君　次長にお伺いしたのですが、賃金公算は……。丘原公算は……。

という名前のが擇山できて参りますが、それで、なにもかく官僚統制になるよりは、國民は誤解をするのであります。この貿易公團につきましても、極めてよく認足せねばならんものが全國におきまして、中小商工業者の中でもうものをアメリカへ出したい、こういふものを印度へ出したいと思つておられます。貿易公團といふものでないかお役所が二重の枠を作つたような考え方で、つい自からの產業に對して國氣を缺いて、十分ないわゆる理解がなつてしまつても、貿易公團の趣旨並びにその方

法は新聞には出ておりませんけれどもが、もとと他の方法を以て各地域、いわゆる都道府県にまきまして、それぐらの産業者を該廳へでも寄せて、そろして貿易公團の側からも、商工省の側からも、貿易課の側から、十分に實際問題を捕えて業者の意見を聽いて頂かなければならんと思うのであります。そういうようなことはまだお始めにならんですか。

○政府委員(新井茂君) 貿易公團ができました時に、各埠でそういうふうな会合を開いたわけありますするが、恐らくそ<sup>の</sup>時はまだ公團の設立後間もなく

かつたために、或いはお集まりになる業者も少かつたかも知れませんし、更に公團の業務の運営のやり方等についてもまだはつきりしたことを申し上げるまでに至らなかつた點もあるかとも存じまするが、御注意大體有難うござりまするので、そういう機會をできるだけ作りたいと思います。

開き直つてこの問題を考えておるのでありますから、國民もあらうとは思いますけれども、貿易廳からいたしましたら、こういう場合には、公團なり貿易廳なりからは本當に開き直つて府縣廳へ言つて貰いたいと思う。それで前のように低調なもので五里霧中のどうしてよいか分らん時分に又言われた人も五里霧中で言つておられ、聞く者も五里霧中であり、敗戦の直接であり、恐らくが妻極まりないところに貿易思想ができるわけもない。だからして今日五億のクレジットの問題で多少とも貿易に關係を持つておる人は皆何かの方法でやつて見たいとい

うような意慾ができることがありますから、これを一つ利用し育成して品物をどんどん、一ヶ所に集めるなり、或いはこれを躰験をしてやるなり、一つ貿易廳はお役所と言うても番頭の積りでやつて貰いたい。それでやはり今委員長がおいやつたように、實際四時になつたら歸るというような考え方でなく、業者のよい所は晝夜を分たず生命をかけて事に熱中して行く、そこに初めて熟も出れば、そこに效果が現われて来る。平穀では效果が一つも現われない。だから貿易廳ができて五億のクレジットができたといったところで他動

ではいけない。みずからが能動的に本當にみずからが儲ける積りで商工業者を指導して貰わないと、ただお役所のようなつもりで、言つて來たことだけは聽いてやる。それはまだ分らんけれども、調べて置くというような考え方で受動的ではない。これは本當の場合は、能動的にどこまでもやつて貰わなければいかんのですぐ、實際各府会議室つらう一聲用意直し、音楽

者と一つぶつかつてそれへ見本を提出さしたりして、あらゆる方面において斡旋の労をとるといふようなふうに力強く商人らしく貿易廳はやつて貢いたいと思います。その點御注文申し上げて置きます。

○深川良左衛門君 私も只今の御質問と同じようなことになるのであります  
が、最近中小工業のことにつきまして、大臣に御意見を承りましたのですが、この中小工業者といふものは、只今現實に貿易したいという意図に燃えておるものであります。殊に今後の貿易には非常に貢獻するところが大きいものである。併しそれに對して具體的

な力強いいわゆる貿易の振興策を講じなければお座なりに愁つてしまつて、やはりその使命を完うすることはできない。この際政府としては思い切つたことをやらなければならんといふよう考へるのでございますが、今地方の各縣に或いは工業試験所とか、或いはその他の協同組合とか、いうものがありますが、それをどういたふうに商工省の方では一つ纏めて行くか。そうしてこの貿易のことに貢獻せしめるために、それを指導なり育成なりをして行こうと思われる點がございましたら、その點を一つお聞かせ願いたいと

○政府委員(新井茂君) 中小工業の振興の問題につきましては先程商工大臣よりお答え申したのであります。貿易廳としたては、實は貿易の部面だけしかやつておりませんのであります。只今の各府縣の試驗所、指導所等の點につきましては、貿易の觀點から見ましても、日本の輸出品の品質向上

ありますので、そういう機關はできるだけ商工省といたしましても活用して、そうして業者の品質改善の指導なり、輸送なりをするようやつた方が宜かろう、かように考えております。○油井賛太郎君 先程來からお伺いしております點ですが、價格の問題についてもう一點次長さんによくお伺いしたい。先程の大蔵のお話では、できました。製品が⑤に或程度の加算額を認めるというようなお話ですが、實際業者といたしましては、貿易品に對しては心血を注いでこれをやるという意慾を持つておると思います。而も今までの例で申しますと、貿易業者はその品物を見

おいて喜ばれる、或いは自分が利益になる、本當に命がけの仕事として取扱つておるのであるが、先程の單一の加算額を認めるなどという程度であつて、果して業者はそれに満足して心思を注いだ立派な製品ができるかどうかといふことは、私は疑わしいと思うのであります。それについてはやはり責任がある貿易業者が活用して、◎というような基準を無視して、本當に海外との取引の妥當なる價格を以てバイヤーとの間に直接交渉をせるよう進めなくてはならんと思います。この八月十五

ました。従いまして實際上輸出品を輸  
送した價格ということは必ずしも言つ  
がたいような價格で買上げをしておつ  
たのであります。が、今度貿易代表團が  
來朝せられまして、いろいろな品物に  
ついて取引が始まります。どうぞ、こ  
ういう價格では到底良い品物を輸出す  
るわけに参らんということです。このい  
わゆる民間貿易の再開を機會にしまし  
て、輸出品の價格を本當に契約のでき  
た品物によさわしい價格を設定すると  
いう意味におきまして、近く物價廳の  
中で輸出品の價格審査委員會といふも  
のを作りまして、各商品の種類毎に監  
箇の部會を設けまして、その部會には



昭和二十二年十月一日印制

昭和二十二年十月一日發行

參議院事務局

印刷者 印 刷 局